

## 平成20年度 決算の概要

本市の財政は、法人市民税の減収を主因として4年ぶりに市税収入が減少となりました。一方、普通建設事業費が大幅な伸びとなり、歳出全体では平成19年度に比べて11.5%の増額となったため、財政調整基金の取り崩しも行いました。また、普通建設事業費の財源となる地方債の借入も増加し、自主財源が依存財源を下回ることとなりました。

今後は不況の影響で市税収入の更なる減少が見込まれる中、起債残高の増加や福祉サービス費の増加により、財政の硬直化が懸念されることです。このような厳しい財政状況に対応するため、集中改革プランに沿った行政改革等により、財政基盤の強化に努めています。また起債にあたっては、地方交付税の算定において、通常の起債より有利になる合併特例債を活用する等、財政負担が過重にならないよう考慮しています。

主な事業は「市民の暮らし・環境の充実、子どもたちの今と未来のために」をテーマとして実施しました。具体的には、小学校6年生までの全診療無料化や妊婦検診の充実（助成を2回から5回）により、子育て支援の充実を図りました。教育面では、安全な教育環境の整備のための小中学校の耐震補強・大規模改修事業を実施し、また、生涯学習活動の拠点施設として総合学習センター建設事業に着手するなど、子どもたちの将来に向けての事業に積極的に取り組みました。

一般会計 歳入 239億3,274万3,435円

一般会計 歳出 234億8,758万7,498円

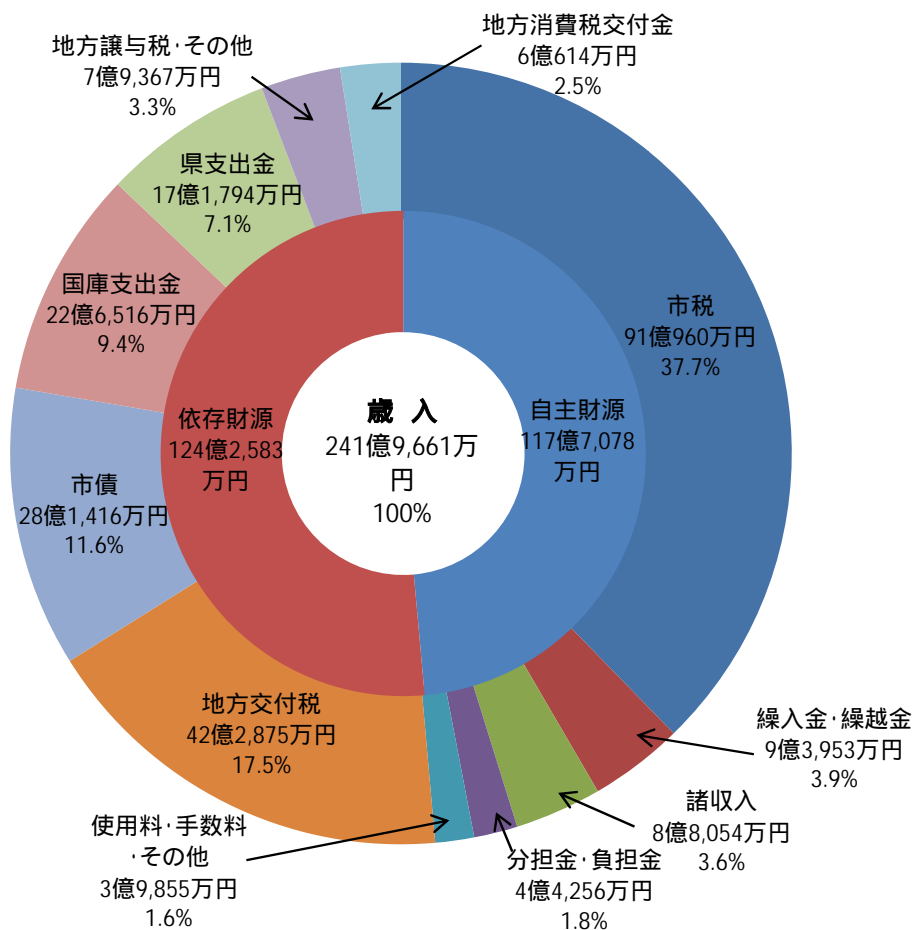
(単位 円)

会計区分	歳入	歳出	歳入歳出 差引	翌年度へ繰越 すべき財源	実質収支	
一般会計	23,932,743,435	23,487,587,498	445,155,937	179,228,844	265,927,093	
特別会計	国民健康保険事業	7,194,684,057	7,151,023,768	43,660,289		43,660,289
	老人保健事業	725,286,333	722,309,939	2,976,394		2,976,394
	後期高齢者医療事業	525,998,180	513,753,252	12,244,928		12,244,928
	介護保険事業	3,979,915,483	3,919,980,110	59,935,373		59,935,373
	介護老人保健施設事業	217,449,181	208,786,245	8,662,936		8,662,936
	住宅新築資金等貸付事業	13,947,500	13,285,328	662,172		662,172
	学校給食センター事業	574,850,820	567,202,019	7,648,801		7,648,801
	下水道事業	1,536,504,932	1,509,610,524	26,894,408		26,894,408
	特定地域生活排水処理事業	23,669,780	22,980,736	689,044		689,044
	簡易水道事業等	44,625,119	41,349,402	3,275,717		3,275,717
	三波川財産区	3,849,308	3,489,190	360,118		360,118
	水道事業	2,057,243,130	2,523,121,617	465,878,487		465,878,487
	国民健康保険鬼石病院事業	1,108,512,311	1,139,889,411	31,377,100		31,377,100

# 平成20年度 普通会計・決算

## 歳入

総額では、前年度と比べて23億19百万円(10.6%)の増額となりました。  
 増額の主なものは、普通建設事業費に関連するものです。地方債は合併特例債などにより15億円(114.1%)の増、普通建設事業費にかかる国庫支出金は40億円(113.6%)の増、本年度は財政調整基金からの繰入を行ったことにより繰入金が3億60百万円(123.8%)の増となりました。また、後期高齢者医療事業の開始により、地方交付税が4億30百万円の増となりました。  
 減額の主なものは、景気の後退で法人市民税が減少(1億35百万円)したことにより市税全体で81百万円の減(0.9%)、多野藤岡医療事務市町村組合貸付金収入の皆減(2億70百万円)等により諸収入が3億円(25.4%)の減となりました。

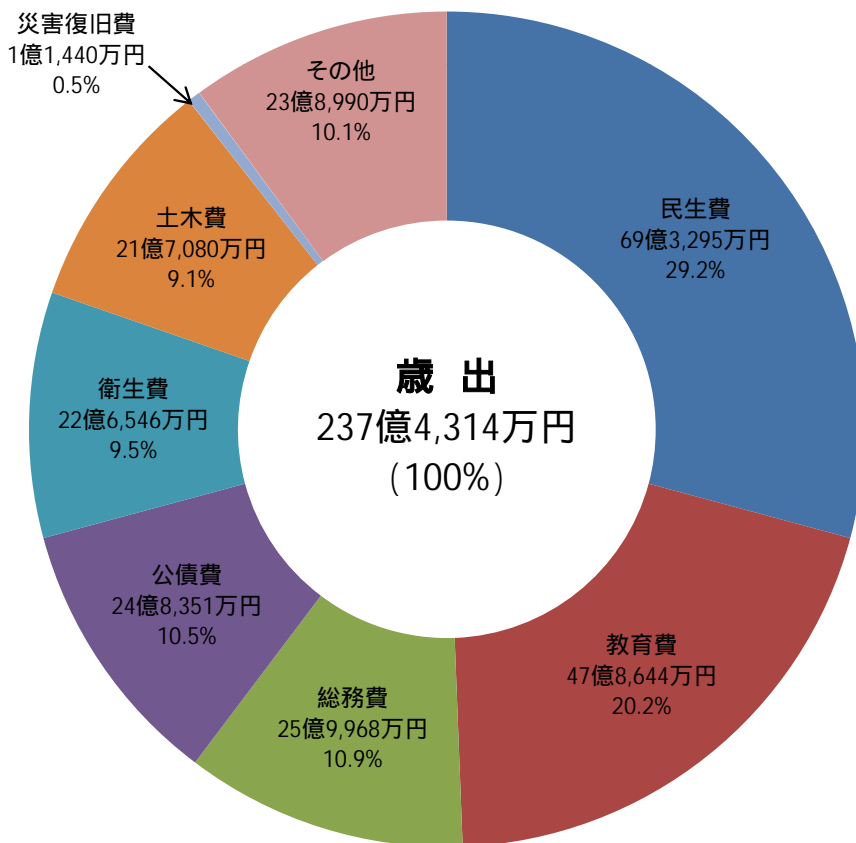


原則として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

# 平成20年度 普通会計・決算

## 歳出(目的別)

総額では、前年度と比べて24億55百万円(11.5%)の増額となりました。  
増額の主なものは、小中学校耐震補強・大規模改修事業及び総合学習センター建設事業により教育費が21億35百万円(80.5%)の増、北藤岡駅周辺の区画整理事業(1億3百万円)等により土木費が1億80百万円(9.0%)の増、国民健康保険事業助定特別会計への繰出金の増(3億10百万円)等により民生費全体では2億95百万円(4.5%)の増となりました。  
減額の主なものは、災害復旧費において工事費の減により1億51百万円(56.9%)の減、多野藤岡医療事務市町村組合負担金の減(31百万円)等により衛生費が1億1百万円(4.3%)の減となりました。

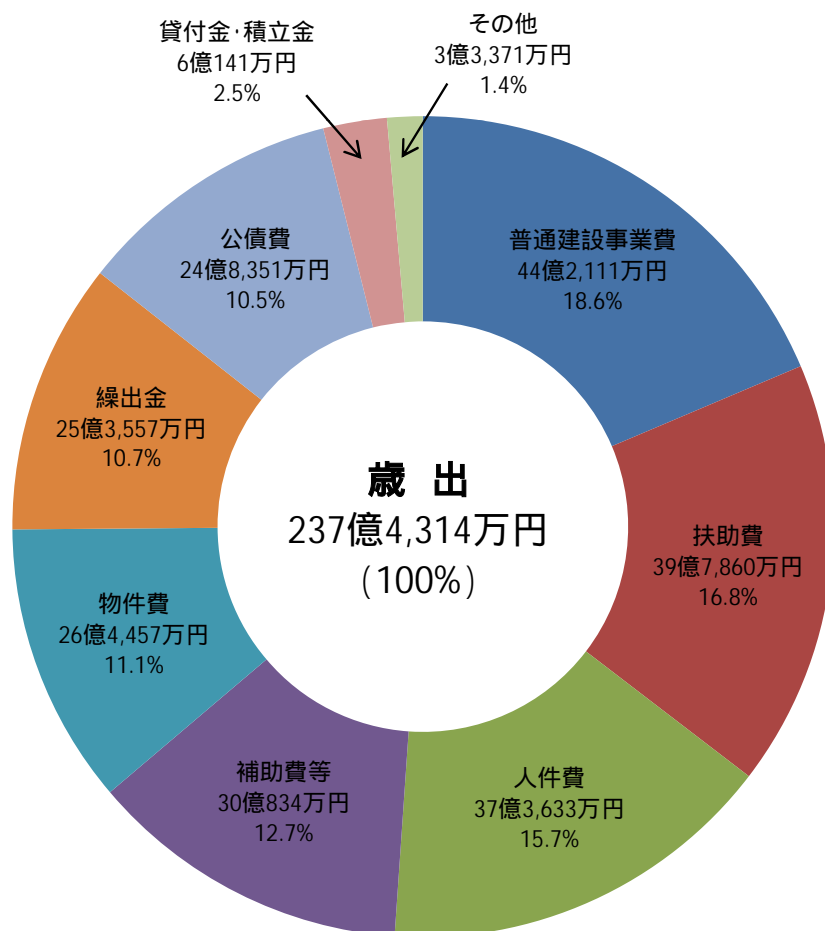


原則として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

# 平成20年度 普通会計・決算

## 歳出(性質別)

総額では、前年度と比べて24億55百万円(11.5%)の増額となりました。  
増額の主なものは、小中学校耐震補強・大規模改修事業や総合学習センター建設事業などにより普通建設事業費が22億20百万円(100.8%)の増、後期高齢者医療特別会計繰出金の皆増(1億25百万円)等により繰出金が2億49百万円(10.9%)の増となりました。  
減額の主なものは、人員削減等による職員給与の減(1億68百万円)により人件費が1億57百万円(4.0%)の減、選挙経費の減(39百万円)等により物件費が1億30百万円(4.7%)の減となりました。



原則として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。